

水道管にも冬支度を！！ 水道管・給湯器などの凍結を防ごう



平成 28 年 1 月に福岡を襲った寒波による水道管・給湯器などの凍結破損で、漏水が多数発生しました。

このようなことを繰り返さないためにも、市民の皆さまのご理解とご協力が必要です。

凍結するとどうなる？

◇水道水が使えなくなり、水道管が破裂するおそれがあります。

◇解氷作業や破損の修繕に費用がかかります。

※宅地内の水道管・給湯器などは、個人の所有物です。破損すると修理費用は自己負担です。



いつ・どんな水道管が凍結しやすい？

◇気温が -4°C 以下になると凍結のリスクが高まります。

◇建物の北側や風当たりの強い場所にある、露出している（地面や建物に埋まっていない）水道管・給湯器などが凍りやすいです。



凍結を防止するには？

◇露出している水道管などは、保温チューブ・発泡スチロール・布・ダンボールなどで覆って、保温しましょう。

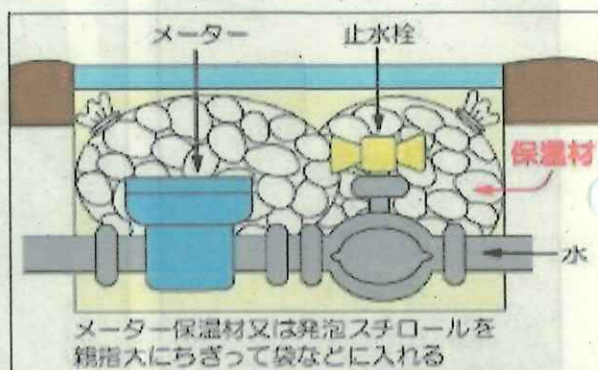
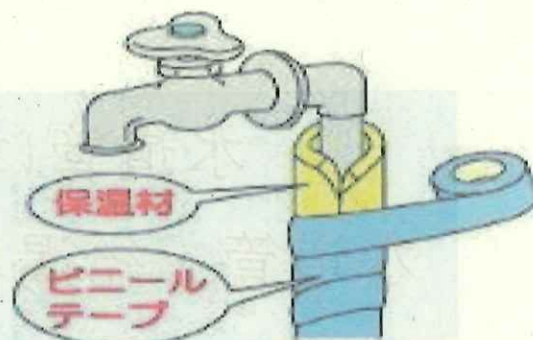
◇メーターボックスの中には、発泡スチロール・布・新聞紙などの保温材を入れて保温しましょう。

(メーターの数値は見える状態にしてください。)

◇老朽化している水道管などは点検・整備しましょう。

◇特に冷え込みが予想されているときは、就寝前に蛇口から少しずつ系引き状に水を出しておくのと凍りにくくなります。

◇給湯器は、種類などによって凍結防止対策が異なる場合がありますので、取扱説明書等を確認するか、メーカーに問い合わせましょう。



凍結してしまったら？

◇自然解冻を待つか、水道管や水栓にタオルや布をかぶせて、ぬるま湯をゆっくりかけてください。

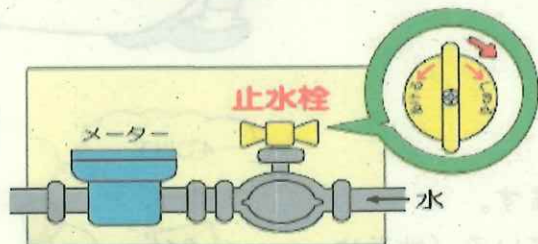
※急に熱湯をかけたり、火であぶったりすると破損や火災の原因となります。

※蛇口を開けたままだと解冻後に水が出続けるため注意してください。



凍結により漏水してしまったら？

◇メーターボックス内にある止水栓(バルブ)を回して、水を止めてから大野城市指定給水装置工事事業者(市ホームページ参照)へ修理を依頼してください。



バルブ
空回りはマイナスドライバー等が必要



大野城市指定給水装置工事事業者一覧

問い合わせ先

大野城市上下水道局

料金施設課 給排水設備担当

Tel092-501-2211 (代表)

Tel092-580-1927(直通)